

徳島県

- ①県立武道館
- ②ベンチ
- ③ボックスシート
- ④ギャラリー

【概要・アピールポイント】

レガシーとして「いつでも」「末永く」利用できる活用方法を検討した結果、可搬式のベンチ等だけではなく、県立武道館の据え付けの観客席に再利用を図ることとした。

また、デザインと制作について、公募型プロポーザルにより様々な提案の中から採用したことで、レガシー材の意義や理念を伝える作品となり、且つ、使いやすいものとなった。

■ 資材提供のきっかけ

県内でドイツ等各国のオリ・パラキャンプを招致し、オリ・パラが県民にとって遠いものでなく、身近なものとして感じてもらえる機会がある中で、県産木材もオリ・パラで利用されることを契機とした県民総ぐるみの木づかい運動の機運醸成を図るため、資材提供することとした。

■ 提供した木材の概要

- ・スギ

■ 用途

- ①県立武道館に据付の観客席
- ②可搬式ベンチ（10基）
- ③ボックスシート
- ④ギャラリー

■ 用途決定までのプロセス

利用に向けた検討会において、オリ・パラレガシーの継承という観点から、事前キャンプ地となった施設等での利用が決定。

- ・県立武道館2階観客席
- ・木製ベンチ10基
- ・自由提案

による活用とし、デザインと制作について県内事業者対象の公募型プロポーザルを実施。6件の応募があった中から、審査委員会により選出された最優秀提案を採用。

■ 完成/使用開始時期

2022年10月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ①鳴門・大塚スポーツパーク内の武道館（鳴門市）
- ②県内スポーツ関連施設等（予定）
- ③④イベント等で使用

■ 完成まで・完成後のエピソード

返却された木材を、なるべくそのまま活用し、徳島すぎ材の風合いを生かした仕上がりとしている。また、大工の伝統技術である「継手」「仕口」の加工を用い、金物をほとんど使用せず、構造をなるべくシンプルなものとする事で、材料費削減や工期短縮、メンテナンスの容易性を実現するだけでなく、環境負荷の低減や大工技術の伝承も図る取り組みとなった。



問合せ先

農林水産部 スマート林業課

電話：088-621-2484